

多面的機能支払交付金 広域活動組織

最上町広域協定



災害後すぐ、復旧に向け動き出す

地域の農地は地域で守る！

令和6年7月25日から26日の記録的な大雨により、最上町では農地・農業用施設の至る所で数多くの被害が発生。農地が土砂で埋まった。水田はまだ用水を必要とする時期だが、水路も被害を受けて水が来ない。行政の対応だけを待ってられない。地域の農地は地域で守る。そこには被災状況の確認、応急復旧等、迅速に対応する人たちがいた。そう、彼らは最上町で多面的機能支払交付金を活用し、町内20組織で構成された広域活動組織として活動する「最上町広域協定」である。

「最上町広域協定」では、被災直後から農業者と地域住民が一体となって、重機も借りつつ、スコップを持ち出して応急復旧を行った。まずはどこで何をしなければいけないか組織の代表皆で話し合い、農地や水路内の土砂撤去、崩壊した水路の復旧等を行った結果、営農できる状態にまで戻すことができた。本交付金は、地域資源（水路・農道等）の維持・保全のための共同活動に対し交付されるが、緊急時には被災した箇所への応急復旧に係る日当、重機のリース等に活用することが可能。そのため、組織的な動き、費用面等、スピード感のある復旧が可能となったのである。

営農後の本復旧に向けても、行政に頼るだけでなく、本交付金と広域活動組織のメリットを最大限活用しながら、各地域が復旧の前線に立って活動している。

被災後の最上町広域協定の動き

①豪雨前後の見回り、被災状況の確認

各地域の役員を中心に、水門や管理ゲートの流量調整、水路を点検。天候が落ち着いてから、役員を中心に区域内の水路・農道・農用地の被災状況を確認。被災箇所があった場合には、被災状況を記録。



②復旧計画打合せ

被災状況に応じて、今後の復旧計画を立案。（自分たちでどう復旧するか、国の災害復旧事業を活用できるか等）



③農業者と地域住民による応急復旧活動

被災した水路や農道を使用している農業者と農業者以外の地域住民が協力して復旧活動を実施。地域で利用する水路などの復旧には、農家・非農家を問わず地域住民が一体となって対応。



おすすめてほしいと思います。

務作業の軽減などのメリットは大きいです。ぜひ広域化に取り組むことを

他の活動組織へのアドバイス

広域化することにより、予算と事

識しなくとも、当然のごとく支援でき

ていたと感じました。

た地域から被害の多かった地域へ、意

識しなくとも、当然のごとく支援でき

ていたと感じました。

また、事務局で一括して資材の手配

や復旧方法、町との調整を行うこと

で、迅速に作業に取り掛かれ、各地域

の負担軽減を図ることが出来ます。

広域活動組織のメリット

地域での復旧活動を通して



最上町広域協定
大場晃 事務局長

多面的機能支払交付金とは

農業・農村の有する多面的機能（防災・景観保全、生物保全・文化継承など）の維持・発揮を図るための地域の共同活動を、行政（国・県・市町村）が支援する制度。災害時の応急復旧にも活用できる。

広域活動組織とは

多面的機能支払交付金を活用し集落単位で活動していた複数の活動組織を市町村単位等の広域エリアで1つにまとめ、共同活動を行う組織。組織の体制強化、事務負担軽減が図られる。